

平成25年度 負イオン研究会 「負イオン生成および負イオンビーム加速の新展開とその応用」

日時:平成25年12月25日(水)13:30~26日(木)17:00頃
場所:核融合科学研究所 シミュレーション科学研究棟 1階会議室

12月25日

13:30 - 13:40

ご挨拶 安藤晃 & 事務連絡

招待講演

座長:安藤晃

13:40 - 14:25 畑山 明聖(慶応大)

水素負イオン源モデリング・シミュレーション研究の現状

負イオン源の現状と将来計画

座長:奥村義和

14:25 - 14:50 山崎 幸春(原子力機構)

最近のJ-PARCイオン源実機の状況

14:50 - 15:15 上野 彰(J-PARC)

最近のJ-PARC-RF負水素イオン源の状況

15:15 - 15:40 衛藤 晴彦(住友重機械工業)

サイクロトロン用負イオン源の開発

休憩 15:40-15:55

15:55 - 16:20 小島 有志(原子力機構)

JT-60負イオン源の大電流長パルス化に向けた研究開発

16:20 - 16:45 津守 克嘉(核融合研)

LHD NBIの現状と課題

ビーム加速技術 I

座長:小栗英知

16:45 - 17:10 明石 圭祐(埼玉大・原子力機構)

多孔電極の放電メカニズムの解明

17:10 - 17:35 木崎雅志(核融合研)

負イオンビーム加速シミュレーション

17:35 - 17:45 安藤 晃(東北大)

科研費(新学術領域)の申請について

17:45 - 18:00 全体討論

現状課題と今後の方向性について

18:30 - 20:30 懇親会

送迎バス NIFS発 18:10

12月26日

ビーム加速技術 II

座長:安藤晃

9:00 - 9:30 平野 洋一(日大・産総研)

低エネルギー高電流密度イオンビームの自発的集束現象のメカニズム

9:30 - 9:50 藤原 大(筑波大・産総研)

凹型電極を用いた低エネルギー高電流密度イオンビーム開発(ビーム自己集束現象前後での電子密度・温度分布計測)

招待講演

9:50 - 10:50 長嶋 泰之(東京理科大)

アルカリ金属蒸着表面を用いたポジトロニウム負イオンの生成とエネルギー可変ポジトロニウムビーム生成への応用

休憩 10:50-11:10

原子分子・表面素過程と負イオン生成

座長:津守克嘉

11:10 - 11:40 和田 元(同志社)

ACAT-codeを用いた表面負イオン生成率の評価

11:40 - 11:55 種村 祐作(同志社)

光電仕事関数測定系の立上状況

昼食 11:55-13:00

13:00 - 13:25 Allan A.B.Padama(Osaka Univ.)

Analysis of the Changes in Electronic Structure and Work Function Variation in Alkali Metal - Metal Surface Systems

13:25 - 13:55 大原 渡(山口大)

照射水素正イオンと触媒金属との相互作用に伴う負イオン生成

負イオンプラズマ基礎研究

座長:高木昭

13:55 - 14:20 吉田 雅史(原子力機構)

JT-60負イオン源でのテント型磁場配位を用いた負イオンビーム一様性の改善

14:20 - 14:50 小水内 翔太(東北大)

FET型電源を用いた高周波水素負イオン源の大型化及びプラズマ生成の評価

休憩 14:50-15:10

15:10 - 15:35 飯島 貴朗(東海大)

オメガトロン型質量分析器によるシートプラズマ中の水素負イオン計測

座長:和田元

15:35 - 16:00 松本 新功(徳島文理大)

三枚引き出し電極によるイオン源プラズマへの影響

16:00 - 16:25 池田 勝則(核融合研)

H α イメージング分光法を用いた引出領域の負イオン挙動分析

16:25 - 16:50 中野 治久(核融合研)

波長変調レーザー吸収分光法による水素原子温度計測

16:50 - 17:00

閉会

研究会代表者:安藤晃(東北大工)、世話人:竹入康彦、永岡賢一、西山洋子(核融合研)
研究会問い合わせ先:n-ion@nifs.ac.jp 研究会WEB:http://n-ion.nifs.ac.jp/
懇親会会場:中華楼せん(http://www.chukaro-sen.jp)世話人:木崎雅志(核融合研)
*講演者は、5-10分程度の質疑応答の時間を確保するようにご準備をお願いいたします。